



第19回 ボランティア研修会 九州電力 玄海原子力発電所見学

特定非営利活動法人「通院介護センター」「さわやか」第十九回ボランティア研修会がさわやかな秋晴れの中、十月二十六日に行われました。ボランティアさん、職員総勢三十七名の参加でした。今回の目的地は佐賀県玄海町にある玄海エネルギーパークです。朝八時に小倉駅前を出発した後、八幡駅前を経由し、九州自動車道、福岡都市高速、前原道路、二丈浜玉道路を経て、目的地に向かいました。行ききのバスの中では、江頭理事長による『道歌にみる一休さんの生きざま』と題して約一時間の講話されました。江頭理事長の講演は、今までにいろいろ

と聞きましたが、一休さんを通して人間のこころの中にある仏についてまでの話に及び、改めて理事長の心の広さと知識の深さをかいまみることができました。その後はさわやかなの恒例となった到着時間当てクイズを行い、またビンゴゲームをしながら現地に到着しました。そこで参加者全員で集合写真を撮りました。



館内をガイドさんの説明を聞きながら、約一時間かけて廻りました。昼食は、浜崎海岸にある汐湯旅館にて、いかの活きづくりや会席料理に舌つづみをうちました。また、温泉に入る方、疲れて一休みする方、さまざまでしたがゆつくりすることができ、ボランティアさん同士交流を深めることができたと思いま

す。帰りは、おさかな村で土産を買って、太平庵酒造資料館で見学して、お酒を試飲したりおみやげに買って帰る方もいました。バスの中では、日本シリーズ第六戦を見ながら、おおいに盛り上がり帰途につきました。

(高原 由美)

研修旅行に参加して

小倉南区 谷 安さん

天高く馬肥ゆる季節、文字通り抜けるような澄みきった青空、周辺の山野も緑とやや紅葉の始まりを思わせるコントラストの景色に恵まれ第十九回「さわやか」研修会に参加でき楽しい一日を過ごす事ができありがたいございました。恒例になりつつある車内講習会では江頭会長のすばらしいレクシンプランによる一休お尚の「いきさま」について私達に興味深く理解できるよう、身近な例題を取り上げ時に、ユーモラスに、時に一緒に考えましようかと熱弁下さり、全員が一休さん講話に引き込まれ唐津までの時間が短く感じました。

かつたため、対馬まで目にする事ができラッキーでした。「さわやか」レディースのユーモアに溢れた楽しい研修企画をしていただき次回の研修会が待ち遠しいのは私だけではないと思います。今後も研修会の出席回数を増やし、いろんな情報、知識を吸収したいと思しますのでよろしくお願いたします。

小倉南区 池田 昭一さん

途中、浜玉道路から眺める真青な唐津湾に真白な帆を立てたヨット、カラフルなウインドサーフィンが数十艘浮いていたのが印象に残り、玄海町の玄海原子力発電所では、原子炉の設置については地震災害に強く強固な建造物で、以前から聞いてはいましたが実際目にして説明等で強固な岩盤を削り構造物の三分の一が地中にあるとは思わなかった。展望室からは天気が良い

今日は秋晴れのよい天気恵まれて、さわやか第十九回のボランティア研修会に参加させてもらいました。行き先は「玄海原子力発電所」の見学・研修会はバスの中、江頭会長の「道歌にみる一休さんのいきさま」と言う題で講話されました。私の知る一休さんとはテレビの漫画や絵本で見るトンチの良い賢い小僧さんの話でした。一三九四年に生まれ一四八一年八十八歳で亡くなったと聞きました。色々な話をされましたが、仏様は自分の心の中にあるんだと言う一休さんの教えが一番心に残りました。

お話が終わって、しばらくして「玄海原子力発電所」に到着、発電所の敷地は福岡ドーム十三

個分の広さがあると聞きました。原子炉の模型を見ながら電気が出来るまでの説明を聞きました。発電能力は、一、二、三、四号機の合計で三四七万八千キロワット、九州の30%分の発電能力があるとのこと、地震に強く、一般のビルの三倍の強度があるとの説明でした。

その後、汐湯旅館で豪華な食事をし、入浴もしました。

帰りは、「おさかな村」に立ち寄りお土産を、それから太平庵資料館を見学。試飲もありました。おいしい出来立てのお酒を試飲して、ほろ酔い気分です。バスに乗り込み、一路北九州へ。無事到着。一日楽しく過ごさせてもらいました。さわやかレディーの皆様、ご苦労様でした。感謝致します。

戸畑区 高倉 徹也さん

文字どおり「さわやか」な、秋晴れのバスハイクでした。毎年楽しみですが、今年は原子力発電所の見学があるので特にワクワクしていました。

十月二十六日早朝、バスは北九州を出発。一路玄海原子力発電所へ。車内で原発関連のクイズや江頭理事長の「江頭流・色即是空論」のおかげで、あつという間に唐津の玄海エネルギー

パークに到着。私が発電所見学に興味を覚えたのは今夏、電気関係の国家試験を受験してからで、それ以来是非、本物を見てみたいと思ったからです。願いが今日、かなって実際に来てみたら、安全管理のためか残念ながら、原子炉や発電機に近づくことはできず、見学者用のビルの展望フロアから遠望するだけだった。でも、この建物には実物大の原子炉の模型が準備されていて、九電の若い案内嬢が私たちを引率しながら、発電のしくみや安全性などの説明をしてくれました。説明によると、原子炉は五重構造で、しかも硬い岩盤の上に建設されているので地震や災害に強くて安全だということ。個人的には、原発は必要と感ずるけれど、原子力は私たち人間の能力をはるかに超えた技術だから、関係する方々には謙虚な姿勢と誠実な行動で100%安全に原発を運転してもらいたいと願っています。

再びバスに乗り込んで、虹の松原の汐湯旅館で食事と温泉を楽しみ、帰りは酒造資料館に立ち寄りお酒を買い、夕陽を見ながら色即是空と原子力は、ともに人間を幸せにするためにあるのかと、考えながら帰途についた。

八幡西区 勝原 祥蔵さん

十月二十六日、ボランティア「さわやか」研修会バスハイクに参加した。

バスの中では江頭理事長の講義があり、佐賀の玄海原子力発電所の見学、唐津の汐湯旅館で昼食、おいしい料理や、イカの刺身、ビールのうまいこと、バスの道中で、恒例の到着時間を当てるクイズで、四人が残りジャンケンで決める事になっていた。ところが、ジャンケンに弱い私が勝って、賞品のハイウエイカードを獲得してしまった。ありがたいございます。楽しく飲んで、風呂はカラスの行水もつたいなかったなあ。帰りは「おさかな村」で買い物、太平庵資料館で試飲、おみやげに酒を買う。バスの中でビンゴゲームを楽しみ、ダイエー対阪神の日本選手権第六戦をテレビで見ながら無事八幡駅前到着した。

事務局の「さわやか」レディーの皆様、忙しい中を色々企画しました。楽しい一日ありがとうございました。ボランティアの皆様お世話になりました。また会いましょう。



研修会 エピソード集

玄海原子力発電所に行きました。佐賀県玄海町というと田舎に超近代建設物が建っています。驚き！その上に、観光客が貸切りバスでわんさと来ている。驚き！一大観光名所になりつつある。



江頭理事長、汐湯旅館で、ダイエーのユニフォームに変身。何としてもダイエーが今日勝たないと明日がないと、全員に訴えました。その甲斐があつて、2連勝してダイエー日本一！万歳！



おさかな村に寄りました。なんと佐賀の片田舎に大勢の人ばかり。身動きのとれない大混雑。レジの前には、何十人もの人の列。これもまた驚き！



「さわやか」専属カメラマン？の佐藤さん。ありがとうございました。



パビリオンでは、若いガイドさんが、原発の安全性について念入りに説明してくれた。原子炉は130cmのコンクリートの要塞の中に、原発本体は、表面の土を削り岩盤の上に建てた。第二次冷却水は7度以下の温度差で海水に戻している。万全を期している。
★原発は安全でないから安全装置がついている。(永六輔)